



チャリティーコンサートで集めた義援金を手渡す中野さん（左）と鈴木さん。朝日新聞さいたま総局

## 浦学吹奏楽部が能登支援

### 演奏会で集めた義援金寄託

浦和学院高校（さいたま市緑区）の吹奏楽部員が6日、朝日新聞さいたま総局（さいたま市浦和区）を訪れ、能登半島地震の復興支援に役立ててもらうため、7万円を朝日新聞厚生文化事業団に寄託した。昨年12月に開いたチャリティーコンサートで義援金を集めた。

コンサートは2004年に発生した新潟県中越地震をきっかけに始まり、

今回が19回目。観客約500人を集め、石川県の県民の歌のメロディーを採り入れたマーチ「ゴードン・イーグル」など約10曲を部員55人が演奏した。

義援金を持参した部長の中野碧水さん（2年）は「石川県の同じ吹奏楽仲間」に聞いてほしいという気持ちで演奏した。副部長の鈴木祐香さん（2年）は「震災から約1年。復興が進むために役立ててもらいたい」と話した。